

2023年12月8日  
株式会社西原商事ホールディングス  
P9合同会社

## 基本合意書締結に関するお知らせ

北九州市にて廃棄物の収集、運搬、処理事業を営む株式会社西原商事ホールディングス（福岡県北九州市八幡西区、代表取締役 西原靖博）と、インドで廃棄物処理とインフラ整備を手掛けるラムキーグループの日本法人であるP9（ピーナイン）合同会社（福岡県北九州市小倉北区、日本代表 松野小百合）は、日本国内市場及び日本国外市場（インド、東南アジア、中東、北米）において共同事業に取り組み、今後北九州内に合弁会社（仮名：Kitakyushu Environment Biz Incubation Center）を設立するための協議を進めることに合意しました。

合弁会社では、環境・リサイクル分野の新たなビジネスを創出するインキュベーション機能を保有する事業を想定し、関連する事業者と協議の上、詳細な事業計画を共同で作成していきます。

今回の基本合意書の目的は、2社の国内市場および国外市場（東南アジア・インド・中東・北米）での事業について、両社各々が保有する技術やノウハウ・ネットワーク・資金力・人材を活用し、相互のビジネスを成長させることを目指し協力関係を構築することにあるため、今後国外でも次のような協力関係に向けた検討を進めて参ります。

- インドネシア市場にて、ラムキーグループが現在予定している医療廃棄物案件に対する技術連携、及び西原商事ホールディングス又はその関連会社から現法への出資の可能性について協議
- インド市場：西原商事ホールディングス又はその関連会社が持つプラント技術をラムキーグループ内で実証実験を行い、今後のインド市場での事業展開準備を共同で行うための協議
- その他ラムキーグループ（Re Sustainability 社、Ramky Infrastructure 社等）が展開する海外事業（東南アジア、インド、中東・北米市場）のネットワークを活用し、相互連携によって現地ビジネスを拡大

【本件に対するお問い合わせ先】

P9合同会社  
Email: [sayuri.matsuno@p-nine.jp](mailto:sayuri.matsuno@p-nine.jp)

株式会社西原商事ホールディングス  
Email: [nhd-kikaku@beetle-ems.com](mailto:nhd-kikaku@beetle-ems.com)

## 企業概要

### ■株式会社西原商事ホールディングス

代表者	西原 靖博		
本社	北九州市八幡西区	設 立	1972年5月
事業内容	<u>国内事業</u> ・廃棄物収集運搬事業、特別管理廃棄物収集運搬事業 ・段ボールの資源化、ビン・缶・ペットボトルやプラスチックの中間処理 ・北部九州の医療廃棄物処理 ・排出事業者(企業)向けの環境管理システム開発及びコンサルティング <u>海外事業</u> ・インドネシアにおける廃棄物中間処理		
事業拠点	北九州市、福岡市	従業員数	グループ全体で240名

### ■ラムキーグループ

創業者	アヨディヤ・ラミ・レディ・アラ（インド上院議員）		
本社	インド・ハイデラバード市	設 立	1994年4月
事業内容	・インフラ整備：住宅、都市開発、道路、鉄道、工業団地整備・運営等 ・環境産業(*)：廃棄物の収集運搬・処理施設建設・運営等 ・その他、製薬、コンサルティング等		
事業拠点	インド、シンガポール、サウジアラビア、UAE、オマーン、米国、アフリカ等		
売上高	13億米ドル（約1,800億円）	従業員数	約25,000人
(*)リ・サステナビリティ社【環境産業】 インドの産業廃棄物部門では最大手（インドの産業廃棄物処理量の約60%） 世界的な投資会社KKRが出資。 環境と経済の両立を図るプロジェクトの開発に注力し、都市開発等のインフラ整備部門と廃棄物処理等の環境産業部門におけるインドの主要企業の一つ。 ラムキーグループはインドでのリサイクル団地（エコタウン）の整備を目指しており、北九州市のエコタウンや海外展開の取組の紹介等を通じて、本市及び市内企業が持つ技術やノウハウを是非活用したいとの意向があり、本年9月に北九州市に法人設立、本市と包括連協協定を締結。			

### ■P9（ピーナイン）合同会社

代表者	松野 小百合		
本社	北九州市小倉北区(COMPASS 小倉)	設 立	2023年9月
事業内容	企業の海外展開支援(技術提携等)、海外の環境人材育成、人材派遣、プロジェクト組成等コンサルティング、環境関連技術の研究開発、環境事業等への投資		